

## 家庭用エコキュート<sup>(\*1)</sup>「ナイアガラ出湯」寒冷地<sup>(\*2)</sup>向けなど 27 機種を発売 新製品全 27 機種が 2017 年度トップランナー基準<sup>(\*3)</sup>に対応



BHP-F46NDK (貯湯容量:460L)



BHP-F37NDK (貯湯容量:370L)

日立アプライアンス株式会社(取締役社長:二宮 隆典)は、家庭用エコキュートの新製品として、2017年度を目標年度とするトップランナー基準に対応した 27 機種を 12 月 10 日より発売します。

新製品のうち「ナイアガラ出湯」標準タンク(寒冷地向け)の6機種(BHP-F46NDKなど)では、水道圧をそのまま利用して瞬間的に沸き上げて給湯する日立独自の「水道直圧給湯」方式を採用しています。これにより、浴室のシャワーと台所などの2か所で同時に出湯しても勢いのあるシャワーが使える、瞬間的に沸かした湯をそのまま飲用できます<sup>(\*4)</sup>。また、この6機種では、「高速湯はり」モード選択時の湯はり時間を約7分半<sup>(\*5)</sup>としました。

さらに、貯湯容量460Lと370Lの24機種では、耐震性を向上させ、耐震クラスA<sup>(\*6)</sup>に対応しました。

(\*1) 電力会社・給湯機メーカーで用いている自然冷媒ヒートポンプ式電気給湯機を総称する愛称。

(\*2) 最低外気温が-25℃までになる地域のこと。次世代省エネルギー基準 I・II 地域(一部の極寒冷地を含む)。

(\*3) エネルギー多消費機器のうち省エネ法で指定するもの(特定機器という)の省エネルギー基準を、各々の機器において、基準設定時に商品化されている製品のうち最も省エネ性能が優れている機器の性能以上に設定するというもの。詳細は P.3 の項番 1 参照。

(\*4) 飲用についての注意事項は、P.4 の(\*9)参照。

(\*5) 設置条件により湯はり時間が変動する場合があります。詳細は P.4 の(\*11)参照。

(\*6) 耐震クラスAとは、建築設備耐震設計・施工指針(一般財団法人日本建築センター)における「局部震度法による建築設備機器の設計用標準震度」において設計用標準震度 1.5 に耐えること。詳細は P.4 の(\*13)参照。

### ■新製品の主な特長<家庭用エコキュート新製品>

1. 新製品全 27 機種が 2017 年度を目標年度とするトップランナー基準に対応
2. 日立独自の「水道直圧給湯」でパワフルシャワー&そのまま飲用可能(「ナイアガラ出湯」の 6 機種)
3. 「高速湯はり」モード選択時の湯はり時間が約 7 分半(「ナイアガラ出湯」の 6 機種)
4. 貯湯ユニットの耐震性を向上(貯湯容量 460L と 370L の 24 機種)

## ■新製品の形式および発売日

タイプ	貯湯容量	システム形式 <sup>(*7)</sup>	本体価格 <sup>(*8)</sup> (税込)	発売予定	月間販売 目標台数
「ナイアガラ出湯」 フルオート <sup>(*9)</sup> (「水道直圧給湯」方式)	460L	BHP-F46NDK など 3 機種	1,034,250～ 1,107,750 円	12 月 10 日	600 台
	370L	BHP-F37NDK など 3 機種	950,250～ 1,023,750 円		
フルオート <sup>(*9)</sup> (減圧弁方式)	標準タンク (寒冷地向け)		560L BHP-F56NUK など 3 機種 1,055,250～ 1,128,750 円		
	460L	BHP-F46NUK など 3 機種	950,250～ 1,023,750 円		
	370L	BHP-F37NUK など 3 機種	866,250～ 939,750 円		
給湯専用 <sup>(*10)</sup> オートストップ機能付 <sup>(*11)</sup> (減圧弁方式)	標準タンク (一般地 <sup>(*12)</sup> 向け)		460L BHP-ZA46NU など 3 機種 792,750～ 866,250 円		
	370L	BHP-ZA37NU など 3 機種	708,750～ 782,250 円		
給湯専用 <sup>(*10)</sup> (減圧弁方式)	標準タンク (一般地 <sup>(*12)</sup> 向け)		460L BHP-Z46NU など 3 機種 771,750～ 845,250 円		
	370L	BHP-Z37NU など 3 機種	687,750～ 761,250 円		

(\*7) システム形式毎に、同等スペックの耐塩害仕様と耐重塩害仕様もラインアップしており計 3 機種となります。

(\*8) この価格は事業者向けの積算見積価格であり、一般消費者向けの販売価格を示したものではありません。台所リモコンおよびふろリモコンを含みます。貯湯ユニットの脚カバーは含みません。

(\*9) フルオートとは、リモコン操作で湯はり、たし湯、保温(追いだし)までを自動で行える機種。

(\*10) 給湯専用とは、フルオート機種に搭載されているふろ自動機能がついていない機種。

(\*11) オートストップ機能とは設定湯量に達すると音声で報知し、湯はりを自動で停止する機能。

(\*12) 最低外気温が-10℃にならない地域のこと。次世代省エネルギー基準Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ地域。

## ■需要動向と開発の背景

家庭でのエネルギー消費の約 3 割<sup>(\*13)</sup>を給湯が占めており、給湯分野における省エネルギー推進は重要な位置付けとなっています。このような中、高効率給湯機として高く評価されている家庭用エコキュートは、今年 3 月に省エネ法に基づくトップランナー基準の対象機器に新たに指定され、一層の高効率化が期待されています。

このような社会的要請に配慮し、今回当社では、新製品すべてにおいて、2017 年度を目標年度とするトップランナー基準に対応した新製品を開発しました。

(\*13) 経済産業省「平成 24 年度エネルギーに関する年次報告(エネルギー白書 2013)」に記載された 2011 年度の構成比。

## ■お客様からの問い合わせ先

日立アプライアンス株式会社 ヒートポンプ給湯機事業企画部 [担当:中村]  
〒105-8410 東京都港区西新橋二丁目 15 番 12 号(日立愛宕別館)  
電話 03-3506-1616 (ダイヤルイン)

以上

(添付資料)

■家庭用エコキュート新製品の詳細説明

1. 新製品全 27 機種が 2017 年度を目標年度とするトップランナー基準<sup>(\*)1</sup>に対応

今年 3 月、家庭用エコキュートは、省エネ法に基づくトップランナー基準の対象機器に新たに指定され、2017 年度のトップランナー基準値(目標基準値)が定められました。

当社では、今年 10 月 20 日に発売した 28 機種に引き続き今回発売する全 27 機種においても、トップランナー基準に対応しました(表 1)。

[表 1 トップランナー基準値(目標基準値)と日立家庭用エコキュート新製品の対応状況]

目標基準値		日立家庭用エコキュートの対応状況				
区分名 <sup>(*)2</sup>	エネルギー消費効率	タイプ	システム形式 <sup>(*)3</sup>	エネルギー消費効率	基準達成率	
21	2.7	「ナイアガラ出湯」フルオート <sup>(*)4</sup> (「水道直圧給湯」方式)	BHP-F46NDK など 3 機種	寒冷地年間給湯保温効率 <sup>(*)5</sup> (JIS)	2.8	103%
21	2.7		BHP-F37NDK など 3 機種		2.9	107%
29	2.4	フルオート <sup>(*)4</sup> (減圧弁方式)	BHP-F56NUK など 3 機種		2.6	108%
21	2.7		BHP-F46NUK など 3 機種		2.8	103%
21	2.7		BHP-F37NUK など 3 機種		2.8	103%
19	3.2	給湯専用 <sup>(*)6</sup> オートストップ機能付 <sup>(*)7</sup> (減圧弁方式)	BHP-ZA46NU など 3 機種	年間給湯効率 <sup>(*)8</sup> (JIS)	3.2	100%
19	3.2		BHP-ZA37NU など 3 機種		3.3	103%
19	3.2	給湯専用 <sup>(*)6</sup> (減圧弁方式)	BHP-Z46NU など 3 機種		3.2	100%
19	3.2		BHP-Z37NU など 3 機種		3.3	103%

(\*1) エネルギー多消費機器のうち省エネ法で指定するもの(特定機器という)の省エネルギー基準を、各々の機器において、基準設定時に商品化されている製品のうち最も省エネ性能が優れている機器の性能以上に設定するというもの。

(\*2) 区分名の詳細は、P.6 の(\*19)参照。

(\*3) システム形式毎に、同等スペックの耐塩害仕様と耐重塩害仕様もラインアップしており計 3 機種となります。耐塩害仕様は形式末尾に(E)が、耐重塩害仕様は形式末尾に(J)がそれぞれ付きます。

(\*4) フルオートとは、リモコン操作で湯はり、たし湯、保温(追いだし)までを自動で行える機種。

(\*5) 最低外気温が-25℃までになる地域のこと。次世代省エネルギー基準Ⅰ・Ⅱ地域(一部の極寒冷地を含む)。

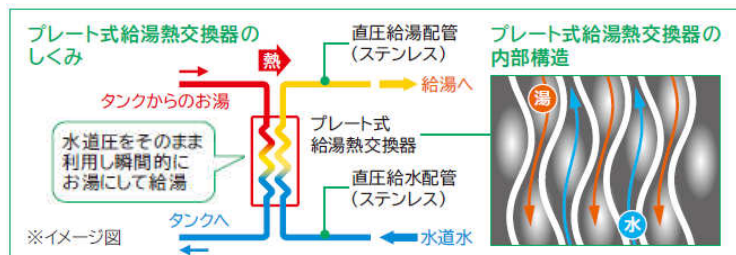
(\*6) 給湯専用とは、フルオート機種に搭載されているふる自動機能がついていない機種。

(\*7) オートストップ機能とは設定湯量に達すると音声で報知し、湯はりを自動で停止する機能。

(\*8) 最低外気温が-10℃にならない地域のこと。次世代省エネルギー基準Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ地域。

2. 日立独自の「水道直圧給湯」でパワフルシャワー&そのまま飲用可能<sup>(\*)9</sup>(「ナイアガラ出湯」の 6 機種)

新製品のうち「ナイアガラ出湯」標準タンク(寒冷地向け)の 6 機種では、日立独自の「水道直圧給湯」方式を採用しています。「水道直圧給湯」方式は、貯湯ユニットのタンクの湯から熱だけを取り出し、水道圧をそのまま利用してプレート式給湯熱交換器で水道水を瞬間的に湯にし、給湯します(図 1)。



[図 1 プレート式給湯熱交換器のしくみ]

そのため、浴室のシャワーと台所などの2か所で同時に湯を使ってもパワフルシャワーが使えます。

また、プレート式給湯熱交換器の瞬間湯沸し構造と、直圧給水配管および直圧給湯配管にステンレスを採用することで、水道水の水質を、ほぼそのままに給湯できるため、沸騰させなくても飲用できます。

(\*9) 【飲用についての注意】必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。また、長時間使用していなかった場合(朝一番や外出後など)、熱い湯が出てくるまでの水(配管内にたまっている水)は飲用や調理用には使用せず雑用水として使用してください。固形物や変色、にごり、異臭があった場合は飲用せずに、ただちに販売店または工事店に点検を依頼してください。

### 3. 「高速湯はり」モード選択時の湯はり時間が約7分半(「ナイアガラ出湯」の6機種)

今回発売する「ナイアガラ出湯」標準タンク(寒冷地向け)6機種では、昨年12月以降に発売した機種(\*10)と同様に、浴そうの湯はり時に湯量を制御するふろ電磁弁の流路抵抗の低減を図るとともに、湯はり中にふろ循環ポンプを運転して流量を増やすことで、「高速湯はり」モード選択時の湯はり時間を約7分半(\*11)としました。

(\*10) 2012年12月1日に発売したBHP-FV46LDなど6機種、2013年10月20日に発売したBHP-F56NDなど11機種で採用。

(\*11) 配管径15A、5m直管、給水元圧300kPa、タンク湯温80℃、水温17℃、湯はり温度42℃、浴そう湯量180Lの条件において。設置条件により湯はり時間が変動する場合があります。残り湯がある場合は、あふれることがあります。

### 4. 貯湯ユニットの耐震性を向上(貯湯容量460Lと370Lの24機種)

貯湯容量460Lと370Lの24機種では、今年10月20日に発売した一般地向け新シリーズ(\*12)に続き、タンク脚受け部(図2)の板厚アップや溶接強化、固定ボルト本数の倍増などにより強度アップを図りました。これにより、耐震性を向上させ、耐震クラスA(\*13)に対応しました。



【図2 貯湯ユニット内タンクの構造イメージ図】

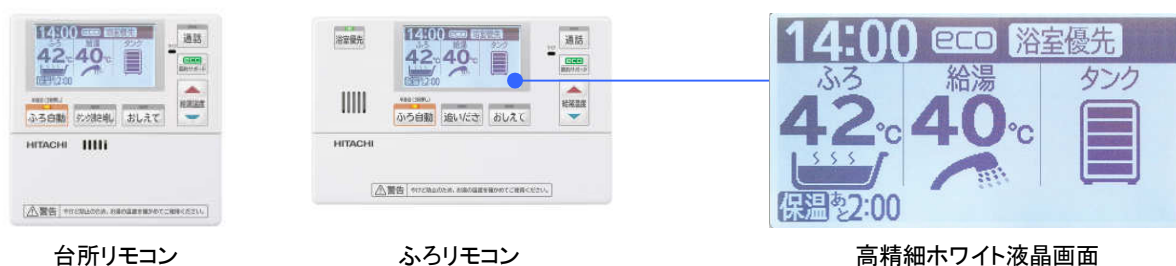
(\*12) 2013年10月20日に発売したBHP-FV46ND、BHP-FV37NDなど22機種。

(\*13) 耐震クラスAとは建築設備耐震設計・施工指針(一般財団法人日本建築センター)における「局部震度法による建築設備機器の設計用標準震度」において設計用標準震度1.5に耐えること。試験条件:満水時の機器を工事説明書に記載の方法にて固定し、重心位置を弱軸方向へ連続的に満水時質量の1.5倍の荷重を加えたとき、耐えることを確認。(560L機種は耐震クラスB(満水時質量と同じ荷重に耐えることを確認))

### 5. 新大型液晶リモコンを採用

ふろリモコンと台所リモコンの表示画面に、フルドットマトリックスの高精細ホワイト大型液晶を継続搭載しました。加えて、大きくて見やすい現在時刻や給湯温度表示、運転状態のアニメーション表示などの採用により、さらにわかりやすく使いやすくしました(図3)。また、専用のボタンを設けることで「[eco]省エネ保温」や「節約サポート機能」などのメニュー画面表示の操作を簡単にしました。

※イメージ図



【図3 新大型液晶リモコン】

## 6. 入浴剤が使用可能

新製品では、いろいろな入浴剤が使用<sup>(\*14)</sup>できます(図4)。(乳白色系に、にごるタイプの入浴剤は、使用できません。)

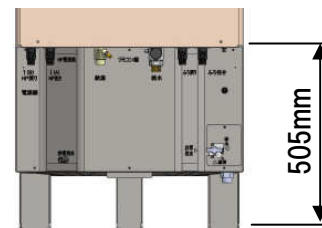


[図4 日立家庭用エコキュートで使える入浴剤(推奨品)]

(\*14)【日立家庭用エコキュートで入浴剤を使用する場合の注意】当社の推奨品と同じシリーズの入浴剤でも湯に溶かしたときに、乳白色系に、にごるタイプは使用できません。また、推奨品以外の発泡するタイプや硫黄、酸、アルカリ、塩分を含んだものおよび、湯のにごるタイプやとろみ系また、固形物が溶けないで残るタイプの入浴剤も機器の故障の原因となるため使用できません。複数の入浴剤を混ぜて使用しないでください。使用の際は入浴剤の使用説明書をよく読んでください。自動配管洗浄を必ず「入」にして使用してください。

## 7. 施工性の改善(貯湯容量 460L と 370L の 24 機種)

新製品のうち貯湯容量 460L と 370L の 24 機種では、貯湯ユニットの配管が集まる下部の「けこみ部分」について、従来製品<sup>(\*15)</sup>に比べ、135mm 高い 505mm とすることで貯湯ユニット設置時の配管取り付け作業などの施工性向上を図りました(図5)。



[図5 貯湯ユニット「けこみ部分」高さ]

(\*15)従来製品「ナイアガラ出湯」標準タンク(寒冷地向け)の BHP-F46JDK(E)(J)、BHP-F37JDK(E)(J)。フルオート標準タンク(寒冷地向け)の BHP-F46JUK(E)(J)、BHP-F37JUK(E)(J)。給湯専用オートストップ機能付(一般地向け)の BHP-ZA46JU(E)(J)、BHP-ZA37JU(E)(J)。給湯専用(一般地向け)の BHP-Z46JU(E)(J)、BHP-Z37JU(E)(J)。

## ■主な新製品の仕様

	タイプ	「ナイアガラ出湯」フルオート (「水道直圧給湯」方式)		フルオート (減圧弁方式)		
		標準タンク(寒冷地向け)				
システム	形式 <sup>(*16)</sup>	BHP-F46NDK	BHP-F37NDK	BHP-F56NUK	BHP-F46NUK	BHP-F37NUK
	仕向地	寒冷地 <sup>(*20)</sup>				
	適用電力制度	季節別時間帯別電灯/時間帯別電灯 (通電制御対応(申請中))				
	電源	単相 200V(50/60Hz)				
	年間給湯保温効率 (JIS) <sup>(*17)</sup>	3.1	3.2	2.9	3.1	3.1
	寒冷地年間給湯 保温効率(JIS) <sup>(*18)</sup>	2.8	2.9	2.6	2.8	2.8
	区分名 <sup>(*19)</sup>	21	21	29	21	21
貯湯ユニット	形式 <sup>(*16)</sup>	BHP-TAD46NK	BHP-TAD37NK	BHP-TA56NK	BHP-TA46NK	BHP-TA37NK
	貯湯容量	460L	370L	560L	460L	370L
	水側最高使用圧力	タンク側 190kPa (減圧弁 170kPa) / 給湯側 500kPa		タンク側 190kPa (減圧弁 170kPa)		
	外形寸法(mm) [高さ×幅×奥行]	2,165 × 625 × 730	1,835 × 625 × 730	2,132 × 685 × 800	2,165 × 625 × 730	1,835 × 625 × 730
ヒートポンプユニット	形式 <sup>(*16)</sup>	BHP-HA60NK	BHP-HA45NK	BHP-HA75NK	BHP-HA60NK	BHP-HA45NK
	外形寸法(mm) [高さ×幅×奥行]	720 × 792 × 299				
	中間期標準加熱能力	6.0kW	4.5kW	7.5kW	6.0kW	4.5kW
	冷媒名	R744(CO <sub>2</sub> )				

(\*16) システム・貯湯ユニット・ヒートポンプユニットには、それぞれ同等のスペックの耐塩害仕様、耐重塩害仕様をラインアップしています。これらの機器の形式は、耐塩害仕様の場合には末尾に(E)を、耐重塩害仕様の場合には末尾に(J)を付記したものととなります。

(\*17) 年間給湯保温効率(JIS)は日本工業規格 JIS C 9220:2011 に基づき、家庭用ヒートポンプ給湯機運転時の単位消費電力量あたりの給湯熱量・保温熱量を表したものです。地域条件・運転モードの設定や、使用条件により異なります。年間給湯保温効率(JIS)=1年間で使用する給湯とふろ保温に係わる熱量÷1年間に必要な消費電力量。

(\*18) 寒冷地年間給湯保温効率(JIS)は、次世代省エネルギー基準Ⅱ地域の盛岡で使用されることを想定して算出した年間給湯保温効率(JIS)です。

(\*19) 省エネ法に基づく区分名。区分名 21 とは、想定世帯:標準,貯湯容量:320L以上 550L未満,仕様:寒冷地仕様,保温機能:有,貯湯缶数:一缶の製品。区分名 29 とは、想定世帯:標準,貯湯容量:550L以上,仕様:寒冷地仕様,保温機能:有,貯湯缶数:一缶の製品。区分名 19 とは、想定世帯:標準,貯湯容量:320L以上 550L未満,仕様:寒冷地仕様以外,保温機能:無,貯湯缶数:一缶の製品。

(\*20) 最低外気温が-25℃までになる地域のこと。次世代省エネルギー基準Ⅰ・Ⅱ地域(一部の極寒冷地を含む)。

以上

---

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---